

WIDEX **DAILY**™

取扱説明書

WIDEX DAILY™ ファミリー

D-9
BTE 補聴器



WIDEX®
HIGH DEFINITION HEARING

お客様の補聴器

(このページは販売店で記入します)

補聴器シリーズ：

プログラム

マスター

ミュージック

テレビ

快適

後ろの音

電話

テレコイル (T)

マイクとテレコイル (M+T)

ゼン

特別プログラム

マスター + ゼン

マスター + テレコイル (T)

特別プログラム

マスター + マイクとテレコイル (M+T)

マスター + 後ろの音

マスター + 電話

スマートトグルプログラム

ゼン+

電話+

付記

すべての補聴器が DEX アクセサリと使用できるとは限りません。

付記

補聴器によってはご使用になれないプログラムがあります。

付記

補聴器のご使用前には、この取扱説明書および別冊「ワイデックス補聴器用イヤセット」をよくお読みください。

目次

ワイデックス補聴器	6
ワイデックスによるこそ.....	6
各部の名称.....	6
重要な安全情報.....	8
補聴器	11
ご使用にあたって.....	11
使用目的.....	11
電池.....	11
電池電圧低下のお知らせ.....	12
電池の交換.....	12
不正開封防止電池ホルダー.....	13
お知らせ音.....	14
通信相手未検出時の警告.....	14
右耳用補聴器と左耳用補聴器の識別.....	15
補聴器電源のオン/オフ（入/切）.....	15
補聴器の装着と取り外し.....	16
補聴器の取り外し方法.....	16
音量調節.....	16
プログラム.....	17
ゼンプログラム.....	19

プログラムの切り替え.....	20
電話の使用.....	20
お手入れ.....	21
用具.....	21
補聴器のお手入れ.....	21
アクセサリ.....	23
外部入力.....	24
故障と思われるときの対処方法.....	25
規制情報.....	27
EC 指令.....	27
指令 2014/53/EU.....	27
処分に関する情報.....	27
FCC/IC ステートメント.....	28
この取扱説明書で使用される記号.....	32

ワイデックス補聴器

ワイデックスによるこそ

新しい補聴器をご購入いただき有難うございます。

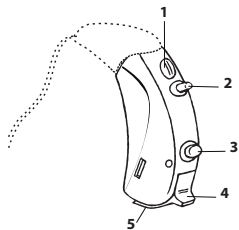
慣れるまでに少し時間がかかるかもしれませんが、補聴器を定期的にお使いください。使用する時間を増やしていくことで、より補聴器の効果を実感されるでしょう。

付記

この取扱説明書に記載されている補聴器、イヤセット、付属品の図は、お客様のものとは異なる場合があります。また必要が生じた場合、弊社はこの取扱説明書の記載内容を変更する場合があります。

各部の名称


図は、イヤセットを除いた補聴器本体を表しています。イヤセットに関しましては、イヤセットの取扱説明書をご参照ください。イヤセットは、チューブとイヤチップまたはイヤモールドで構成される、耳の内側に装用する補聴器の一部です。





1. マイク入音口
2. ボリュームコントロール
3. プログラムボタン
4. オン/オフスイッチ
5. 爪グリップ付き電池ホルダー


重要な安全情報


補聴器の使用を開始する前にこれらのページをよくお読みください。


 補聴器および電池は口に入れたり、不適切な使用をする
と非常に危険です。重大な怪我や、思わぬ事態になりか
ねません。飲み込んでしまった場合は、すぐにお住まい
の地域の緊急電話番号または病院に連絡してください。


 お使いにならない時は補聴器を取り外してください。取り
外しておくことにより、外耳道が換気され、耳の感染
症を防ぎます。


 耳の感染症やアレルギー反応が疑われる場合、医師また
は聴覚専門医に直ちにご相談ください。


 補聴器に不快感を感じたり、耳に合わないなどで耳の皮
膚が赤くなるなどの異常を感じる場合は、聴覚専門医に
ご相談ください。


 シャワー、水泳、ヘアドライヤーを使う前には補聴器を
取り外してください。


 香水、スプレー、ジェル、ローション、クリームを付け
る場合は、補聴器を装用しないでください。


 電子レンジで補聴器を乾かささないでください。補聴器が
破損します。


 他人の補聴器は絶対に使用しないでください。また、ご
自分の補聴器を他人に使用させないでください。それ
によりお客様の聴覚が損傷する恐れがあります。


 鉱山などの爆発性ガスが存在する可能性がある環境では補聴器を絶対に使用しないでください。


 補聴器、その部品、付属品および電池はお子様や知的障害のある方の手の届かないところに保管してください。

 自分自身で補聴器を開いたり、修理したりしないでください。補聴器の修理が必要な場合は、販売店にご相談ください。

 補聴器には無線通信技術が導入されています。補聴器を使用している環境には常に注意してください。何らかの制限が適用される場合には、それらを順守するよう注意を払ってください。

 この補聴器は非常に強力で、132 dB SPL を超える音を再生できます。残存聴力を損傷する危険性がありますので、ご注意ください。

 補聴器を極度の高温または高湿度にさらさないでください。また濡れたり汗を多くかいた場合は直ちに乾燥させてください。

 CT や MRI などの検査を受ける際には、事前に補聴器を外してください。補聴器から大きな音が生じたり、補聴器を破損することがあります。IH 調理器など電磁波を発生する機器の影響で、雑音や歪みを生じることがあります。

補聴器の保管と輸送は、温度-20° C~+55° C (-4° F~131° F)、湿度 10%~95% rH の環境で行ってください。

補聴器は温度 0° C (32° F)~50° C (122° F)、湿度 10% ~95% RH、気圧 750~1060mbar の範囲で作動するよう設計されています。

補聴器の技術データシートと追加情報：<http://global.widex.com>。

補聴器

ご使用にあたって

この補聴器は、聴力低下が微小（10 dB HL）から高度（90 dB HL）の範囲にある方を対象とした機器です。

補聴器の調整にあたっては、専門的教育を受けた補聴器技師・言語聴覚士・医師により処方されることを推奨します。

使用目的

この補聴器は、増幅された音により日常生活での聞こえを補う機器です。モデルによっては、背景音に楽音やノイズを再生し、静かな環境でリラックスするためのゼンプログラムを使用できます。


電池


お客様の補聴器には、**空気電池 PR48（13 タイプ）**をご利用ください。


使用推奨期限に注意し、販売店が推奨する電池を常にお使いください。

付記

電池に汚れや残留物が全くないことを確認してから、補聴器に挿入してください。電池の状態により補聴器の動作に影響する場合があります。

 補聴器の電池は、爆発する可能性があるため、再充電しないでください。

 消耗した電池を補聴器に設置したまま保管しないでください。液漏れにより、補聴器が壊れる恐れがあります。

 パッケージの記載に従い、使用済み電池を廃棄してください。使用推奨期限にご注意ください。

電池電圧低下のお知らせ

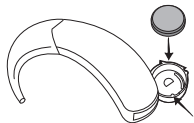
電池残量が少なくなってくると、補聴器はお知らせ音で知らせます。また、電池が突然に消耗した場合、お知らせ音を発しないことがあります。このお知らせ音が鳴ってから補聴器がどのくらい使用できるかは個々に異なりますので、常に予備の電池を持ち歩くことをお勧めします。

電池の交換

電池を交換するには、次の手順を実施してください。



新しい電池のシールを取り外し、粘着性の残留物が残っていないことを確認し、約 60 秒間「通気」し、電圧を安定させます。



爪グリップを使用して、ゆっくりと電池ホルダーを開き、古い電池を取り外します。次に、図のように新しい電池を向きに注意してホルダーに入れます。ホルダーを閉じます。ホルダーが閉まりにくい場合、電池が正しく設置されていません。補聴器を数日間ご利用にならない場合は、電池を取り外してください。

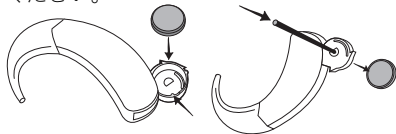
付記

補聴器を落とさないでください。補聴器を柔らかい布の上に置いて電池を交換してください。

不正開封防止電池ホルダー

お子様が補聴器を使用する場合には、販売店に不正開封防止電池ホルダーをお求めください。

補聴器と共に提供されたツールを使い、電池を押し出してください。



お知らせ音

特定の機能が有効になった場合、またはプログラムを変更した場合には、補聴器が音でお知らせします。お客様のニーズやお好みに応じ、音は、音声によるメッセージまたはトーンに設定できます。

プログラム メッセージ/1 回の短い音 ピッ
1

プログラム メッセージ/2 回の短い音 ピッピッ
2

プログラム メッセージ/3 回の短い音 ピッピッピッ
3

プログラム メッセージ/1 回の長い音と 1 回の短い音
4 ーッピッ

プログラム メッセージ/1 回の長い音と 2 回の短い音
5 ーッピッピッ

ゼン+ メッセージ/トーン

機能が不要な場合には、音声信号をオフにするよう販売店に依頼してください。

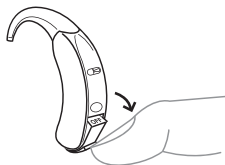
通信相手未検出時の警告
(特定モデルでのみ使用可能)

販売店は、片方の耳の補聴器に接続されない場合、補聴器が警告を発する機能をオンにすることができます。言葉によるメッセージが聞こえます。

右耳用補聴器と左耳用補聴器の識別

右耳の補聴器には赤いマークが付いています。左耳の補聴器には青いマークが付いています。

補聴器電源のオン/オフ（入/切）



電池を挿入して電池ホルダーを閉じると、補聴器の電源が入ります。販売店がこの機能を無効にしていない場合には、電源が入ったことを知らせるお知らせ音が補聴器から聞こえます。電池カバーを押し下げると、電源は切れます。

付記

補聴器を手で覆って補聴器の電源が入っていることを確認することもできます。ハウリング音が聞こえる場合には補聴器の電源が入っています。

補聴器を使用しない時は、必ず電源を切ってください。

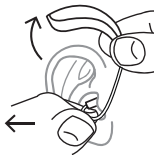
補聴器の装着と取り外し



- 1.チューブ/イヤールワイヤの下側を持ちながら、イヤールセットを外耳道に挿入します。同時に耳を後方、上方向に引っ張ると装着しやすくなります。
- 2.補聴器を耳の後ろに掛けます。補聴器が耳と頭の間にはっきりと収まるようにします。

様々なタイプのイヤールセットを使用し、補聴器を装着することができます。イヤールセットの詳細については、別冊のイヤールセットのマニュアルを参照してください。

補聴器の取り外し方法



- 初めに補聴器を耳の後ろから取り外します。
チューブ/イヤールワイヤの下側を持ち、イヤールセットを外耳道からゆっくりと引き出します。

音量調節

補聴器は、周囲の音の環境に応じて出力音を自動的に調整します。

また、お客様のニーズやお好みに応じ、音量を手動で調節できます。音量を調節するには、音量を上げるにはレバーを上方に、音量を下げるにはレバーを下方に押します。

販売店がこの機能を無効にしていない限り、リモコンの音量キーを操作する度に、お知らせ音が聞こえます。音量が最大または最小に達すると連続音が聞こえます。

必要に応じて、補聴器を消音にすることもできます。以下の手順に従ってください：

- リモコンのボリュームキーの下側を押します。「プー」という音が聞こえても押し続けると、補聴器の音を消すことができます。

再度サウンドをオンにするには、

- レバーを上方に押します、または
- プログラムの変更

補聴器の電源を切るか、プログラムを変更すると、音量は元に戻ります。

プログラム

プログラム	用途
マスター	日常用プログラム
ミュージック	音楽を聴くためのプログラム
テレビ	テレビを観るためのプログラム

プログラム	用途
快適	周囲の雑音を抑えます
後ろの音	背後の音に焦点を合わせます
テレコイル	補聴器のテレコイルを通して聴くため、周囲の騒音なしに、必要な音声を直接聴くことができます（磁気誘導ループシステムが必要）
M+T(マイクとテレコイル)	補聴器のマイクとテレコイルを組み合わせています。音源だけでなく、他の音声も聴くことができます
電話	電話の会話を聴くために最適なプログラム
ゼン	ストレス軽減を目的とした機能。チャイムや鐘の音を奏でます
特別プログラム	用途
複合プログラム	片方の耳にマスタープログラム、もう一方の耳にゼン、テレコイル、マイクとテレコイル、後ろの音、または電話を設定します

スマートトグル プログラム 用途

ゼン+	ゼンと同様ですが、様々なタイプのトーンやノイズを聴くことができます
電話+	電話を使用する時専用のプログラムです。片方の補聴器で受けた電話通話音を、もう片方の補聴器に送信するため、両耳で聴くことができます

後にお客様の生活環境の変化に応じ、プログラム設定を変更することができます。販売店にご相談ください。

ゼンプログラム

補聴器には、ゼンと呼ばれるユニークなプログラムが搭載されている場合があります。これは、背景に楽音 (または広帯域ノイズ) を作り出します。



音の大きさの減少、許容範囲外の音、音声が明確ではない、耳鳴りの悪化を感じた場合は、聴覚専門医に相談してください。



ゼンプログラムを使用すると、会話などを含む通常の音声が妨げられることがあります。そのような音を聞くことが重要な場合は、このプログラムを使用しないでください。そのような状況では、補聴器をゼン以外のプログラムに切り替えてください。

プログラムの切り替え

プログラムを切り替えるには、プログラムボタンを押します。

付記

電話+プログラムへは、リモコンで切替えることはできません。

ゼン+

プログラムボタンを1秒以上長押しするとゼン+プログラムに切り替わります。その後、プログラムボタンを短く押すと、設定されているゼンスタイルに順番に切り替わります。プログラムを終了するには、プログラムボタンを1秒以上長押しします。

電話+

補聴器のプログラムボタンを1秒以上長押しすると、電話+プログラムに切り替わります。終了する場合は、同じ補聴器のプログラムボタンを1秒以上長押ししてください。

電話の使用

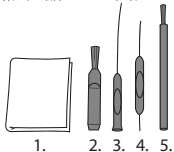


電話を使用する時は、電話を直接耳に当てるのではなく、耳の上部の頭に近づけて持ちます。

お手入れ

用具

補聴器には下記のお手入れ用具が同梱されています。



1. やわらかい布
2. ブラシ
3. 耳垢除去用具（長）
4. 耳垢除去用具（短）
5. 電池取り出し用磁石

補聴器のお手入れ

補聴器の性能を維持するために、耳垢や汚れを取り除いて常にきれいな状態にしてください。



ご使用後は、やわらかい布で補聴器を拭いてください（販売店から提供された布など）。
マイクの入音口が詰まっている場合は、販売店にご連絡ください。

補聴器が濡れたり、汗を多くかいたりした場合は、補聴器を直ちに乾燥させてください。補聴器を常に乾燥させ清潔に保つために、ワイテックス Dry-Go（ドライゴー）などの専用の乾燥機を使用することもできます。詳しくは、販売店にご相談ください。

電池ホルダーを開けたままにして補聴器を通気させます。
イヤークリップの清掃方法については、イヤークリップのマニ
ュアルを参照してください。



補聴器のお手入れには液体や殺菌剤を使用しないでくだ
さい。



毎日、使用後に補聴器を清掃し、破損していないことを
確認してください。補聴器が装用中に破損し、外耳道に
小さい破片が残った場合には医師にご相談ください。決
して破片をご自身で取り出さないでください。

アクセサリ

別売りの補聴援助用アクセサリを使用することができます。詳しくは販売店にご相談ください。

名称	用途
RC-DEX	リモコン
TV-DEX	テレビおよびオーディオの受聴用
PHONE-DEX	シンプルな固定電話用(日本国内未対応)
FM+DEX	FM 受信機、外部音響機器からの信号を補聴器へ伝達
T-DEX	テレコイルで補聴器を携帯電話に接続するために使用(未発売)
UNI-DEX	補聴器を携帯電話に接続するために使用
CALL-DEX	携帯電話・スマートフォンを無線で接続
COM-DEX	Bluetooth 経由でスマートフォンや他の機器に無線で接続
COM-DEX リモート マイク	特定の話者の音声を聞き取りやすくします

一部の国でのみの販売です。

外部入力

補聴器にはオーディオシューを付けることができます。これにより、各種アクセサリ（FM および CROS/Bi-CROS システム）に加え、外部音響機器に直接接続できます。

この機能の詳細については販売店にご相談ください。



電源コンセントに接続している装置に補聴器を接続する場合、その装置は IEC 60065, IEC 60601-1 または同等の安全規格に準拠している必要があります。



次の記号のいずれかが表示されているソケットに補聴器を接続しないでください：



故障と思われるときの対処方法

補聴器が作動しなくなった、または期待通りに機能しない場合は、このページに記載のアドバイスを参照してください。問題が解決しない場合は販売店にご相談ください。

問題	考えられる原因	解決策
補聴器から音が聞こえない	補聴器の電源が入っていない	電池ホルダーがしっかり閉じていることを確認してください
	電池の消耗または電池不良	新しい電池を入れて試してください
補聴器の音が小さく感じる	外耳道に耳垢が詰まっている	医師にご相談ください
	聴力が変化した	販売店/医師にご相談ください
ピーツというハウリング音が常に聞こえる	外耳道に耳垢が詰まっている	医師にご相談ください
補聴器が両方同時に動作しない	補聴器間の通信が途絶えた	補聴器の電源を入れ直してください

問題	考えられる原因	解決策
音量調節やリスニングプログラムの切り替えをしても補聴器が反応しない	<ul style="list-style-type: none"> a. 装置が通信圏外で使用されている b. 近くに強い電磁干渉がある c. 装置と補聴器がマッチングされていない 	<ul style="list-style-type: none"> a. 装置を補聴器に近づけてください。 b. 電波干渉する機器から離れてください c. 装置が補聴器とマッチングされているか、販売店に確認してください
使用時に音が途切れる、または片方の補聴器からの音が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> a. 片方の補聴器のバッテリーが消耗している b. 近くに強い電磁干渉がある 	<ul style="list-style-type: none"> a. 片方、または両方の補聴器の電池を交換してください b. 電波干渉する機器から離れてください

付記

この対処方法はこの補聴器本体のみに該当します。お使いのイヤークセットの詳細については、「ワイデックス補聴器用イヤークセット」をお読みくださいを参照してください。問題が解決しない場合は販売店にご相談ください。

規制情報

EC 指令

指令 2014/53/EU

ここに、Widex A/S は、この D-9 が、指令 2014/53/EU の基本的要求事項およびその他の関連条項に準拠していることを宣言します。

D-9 には、10.6 MHz、-54dB μ A/m @10 m の無線送信機が搭載されています。

2014/53/EU に従う適合宣言のコピーを以下に掲載します。

<http://global.widex.com/doc>



N26346

処分に関する情報

補聴器やその付属品、電池を通常の廃棄物として処分しないでください。

補聴器やその付属品、電池については、地区の定める電気・電化製品の処分方法に従って処分するか、購入元へ処分を依頼してください。

FCC/IC ステートメント

FCC ID:TTY-D9

IC:5676B-D9

Federal Communications Commission Statement

This device complies with part 15 of the FCC Rules.Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

NOTE:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules.These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.If this equipment does cause

harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

NOTE:

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Changes or modifications to the equipment not expressly approved by Widex could void the user's authority to operate the equipment.

Industry Canada Statement / Déclaration d'industrie Canada

Under Industry Canada regulations, this radio transmitter may only operate using an antenna of a type and maximum (or lesser) gain approved for the transmitter by Industry Canada.

To reduce potential radio interference to other users, the antenna type and its gain should be so chosen that the equivalent isotropically radiated power (e.i.r.p.) is not more than that necessary for successful communication.

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Conformément à la réglementation d'Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d'un type et d'un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l'émetteur par Industrie Canada.

Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique à l'intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d'antenne et son gain de sorte que

la puissance isotrope rayonnée équivalente (p.i.r.e.) ne dépasse pas l'intensité nécessaire à l'établissement d'une communication satisfaisante.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

この取扱説明書で使用される記号

医療機器の表示で Widex A/S により共通して使用される信号
(ラベル/IFU/など)

記号 タイトル/説明



製造元

製品は、名前および住所が記号の横に記載されているメーカーにより製造されています。製造年月も記載される場合があります。



カタログ番号

製品のカタログ (品目) 番号。



取扱説明書を参照

取扱説明書には安全に関する重要なお知らせ (重要/注意) が記載されていますので、製品のご使用前に必ずお読みください。



警告

警告記号を伴う事項は、製品のご使用前に必ずお読みください。



WEEE マーク

「一般廃棄物ではありません」製品の廃棄については、危険物質があるために環境や人の健康を害するリスクを防ぐため、指定されたリサイクル・回収場所に廃棄してください。

記号 **タイトル/説明**



CE マーク

製品は、CE マークに関する欧州指令によって定められた要件に適合しています。



RCM マーク

製品は、オーストラリアとニュージーランド市場に供給される製品に対する電気安全、EMC、無線スペクトル規制要件に準拠しています。



電磁波による干渉

製品の近くでは電磁波による干渉が起きる可能性があります。

ワイデックス株式会社
製造販売元 ワイデックス株式会社
〒131-0034 東京都墨田区堤通 1-19-9
リバーサイド隅田セントラルタワー
TEL 0120-332-604 FAX 0120-332-394
<http://japan.widex.com/>
許可番号 13B2X00020 管理医療機器



WIDEX A/S

Nymoellevej 6, DK-3540 Lyngø, Denmark
global.widex.com



取扱説明書番号:
9 514 0349 016 #02
発行:
2018-08

